

令和3年度 各務原市立鵜沼第三小学校 経営構想

各務原市教育委員会の重点
誇り・やさしさ・活力のある児童生徒 ～ ひとりひとりが幸せを実感 ～



【学校の教育目標】 美しい心で、力いっぱいやりぬく子
 自ら考え、表現する子 自分や仲間を大切にする子 心も体もじょうぶで、たくましい子

- ・美しい心 … 自分の夢や目標、価値のあることにひたむきに頑張ろうとする心。人の思いを分かろうとする心。
- ・力いっぱいやりぬく … 今、自分に何ができるかを考え行動すること。

指導の合い言葉 いつか大人になる子どもたち
 ～人生の主体者として「生きる力」をプレゼント～

- ・美しい心で頑張る子を、全力で応援。
- ・頑張ろうとする仲間の足を引っ張る言葉や行動には、職員全員で改善を求める。
- ・困ったことが起きたら、相談しやすい職員に、ぜひ話を。その日から解決に向かって動き出す。

《学校経営の重点》 “職員一人一人のよさ” と “組織体制” を生かした指導

学年（部）によるきめ細かな指導	指導部会提案に基づく共通行動の徹底
<ul style="list-style-type: none"> ・学級目標の具現を核とした心の居場所のある学級づくり (いじめを許さない支持的風土の醸成と質の高い集団の育成) ・豊かな心を育てる道德の授業 (生命尊重と思いやりの心の重視) ・教科担任制と授業改善による授業の充実 (複数職員での一人一人の学力定着の確かな見届け) 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティスクールを生かした「あいさつ」の一層の向上 ・「掃除」、「給食」の取組の一層の充実 ・ボランティア手帳等を活用した「美しい心」の具体化 ・仲間を広げる「なかよし活動」 ・自治の力を育む「児童会・委員会活動」 ・安全と安心につながる「日常の危機管理に基づく指導」

【1年間の学校生活における児童の育ちのイメージ】

力を合わせることのよさ、自分の頑張りの実感

自信と感謝と決意

学校・学級への安心感

カリキュラム・マネジメント（PDCAサイクル）を基盤として、重視する評価の視点

- ※校内（職員会）での情報共有は、確実かつ丁寧に行われ、指導に反映できているか。
- ※可能な限り最大限の教科担任制を導入したことは、児童の実感として成果を残せているか。
- ※保護者との良好な関係を築く中で、家庭と学校が一体となった指導ができているか。
- ※地域住民に適切かつ正確な情報提供を行うとともに、各種の地域団体との連携が図られているか。
- ※緑陽中学校区コミュニティー・スクールとして具体的な活動が推進されているか。